



埼玉医科大学医学部 同窓会会報

第78号

令和6年3月



巻 頭 言

会長 稲 葉 宗 通



新年あけましておめでとうございます。会員の皆様に置かれましてはご清勝のこととお喜び申し上げます。皆様のご支援とご協力により同窓会活動もコロナ禍を乗り越えられましたこと心より御礼申し上げます。

昨年を振り返ると、世界的規模での大きな出来事が起こった年であり、世界規模で人々に不安や不信感を植えつけた年でもありました。新型コロナウイルス感染症の影響は未だ残り、感染症5類に変更がなされたものの今持って収束は見られず、先が不透明のままで会員の皆様も不安を抱きながら診療にあたられていることと思います。人々の不安はコロナ禍3年間で大きく膨らみ、歴史的出来事としてのロシア・ウクライナ戦争は世界中を巻き込み2年が経過しようとしても終戦が望めず、さらにはイスラエルのガザ侵攻が始まり、中国、北朝鮮などの独裁者国家は一層我々の生活に暗い影を投げかけています。私たちの日常生活は一層厳しさを増していくことが予想されています。一方明るい出来事は日本人が活躍したスポーツ界で多くありました。延期されていた東京オリンピック、冬のオリンピックやW杯サッカーなどでの日本人の活躍があり、特に昨年の「ワールド・ベースボール・クラシック」(WBC)での優勝は日本列島が感喜の渦で湧きかえり、大谷翔平選手のMLBでのホームラン王も含めて日本人に希望や光明を見出させるものでありました。

一方、自然界の変化は待つてはくれず、地球規模で自然災害が起こっており、6月の能登半島地震やシリ

アや中国での地震、ハワイ島での火災をはじめ乾燥による大規模山火事は世界各地で見られ、アイスランドでの火山の噴火も人々に大きな被害をもたらしています。

日本においても各地で毎年多くの被害がもたらされ、会員の先生がたも何らかの被害に遭われることが多くなることが予想されます。同窓会として速やかに情報収集と対応をしていきたいと考えております。そのためにも日頃から皆様との情報交換が大切となり、一層密にさらに広く皆様とお話しさせていただく機会が持てればと思います。どうぞ宜しくお願いいたします。

会員の皆様の中で、コロナ禍のこの3年間に学内外で教授あるいは公的病院長に就任した方が9名おられ昨年は4名の方をお祝いし、今年は5名の方の就任祝賀会を予定しています。これからも益々多くの方のお祝いができ、会員の皆様と喜びを分かち合得ることを望みます。

昨年役員改選にて3期目の会長をさせていただく事になりました。この期に会員の皆様に一層同窓会に関心を持ってもらえるような活動をしていきたいと考えています。そして後継者にバトンタッチしていきたいと考えています。

会員の皆様には引き続き倍旧のご厚情を賜りたく切にお願い申し上げます。

皆様にとってこの1年が素晴らしいものでありますようご健勝とご活躍を祈念いたします。